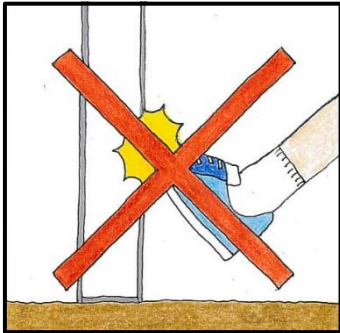
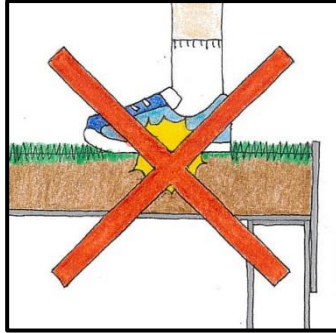


原っぱテーブル・セット お取り扱い注意事項

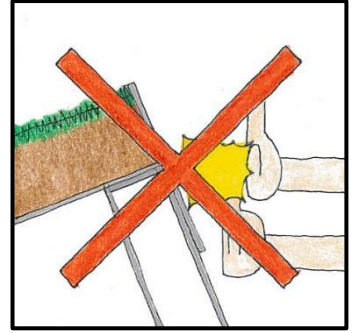
原っぱテーブル・セットのお取り扱いについて、下記3点について禁止事項とさせていただきます。
この3点については、原っぱテーブル本体にもシールで張っています。
ご使用前に子どもたちとの共有を図ってください。



けったら だめ！



のったら だめ！



たおしたら だめ！

基本的には、保育園・幼稚園・こども園・その他乳幼児施設等での使用を目的とし、可能な限り丈夫かつ頑丈に制作しておりますが、原っぱテーブル・セット（原っぱテーブルと丸太いす）について、「製品性質上の注意事項」を下記にまとめましたので、ご使用前に必ずお読みください。

1. 原っぱテーブル（アクリル製）

- アクリルの中でも強度の高いキャスト材（厚み8mm）を使用しています。下記にアクリルの特性を示します。

- ① 耐候性に優れ、自動車のランプレズや電飾看板のカバーにも使用されており、透明度や強度の低下は低い素材です。
- ② しかし、紫外線や雨風等の影響から、経年劣化による透明度の曇りやひび割れ等は避けられません。

- アクリル（キャスト材）を8mmという厚みで製造しておりますが、蹴る・乗る・倒す等の強い衝撃や大きな負荷を与えた場合は、破損の原因となります。
- 原っぱテーブルの組み立て時や使用中によるケガを防ぐために、テーブルや脚部に面取り加工を施しています。
- 原っぱテーブルの耐荷重は、15kgとなります。（4枚の植生マットと目砂を合わせた湿潤状態で10kg以下です。）

2. 丸太いす（天然杉丸太）

- 奈良県吉野産の天然杉丸太を使用しており、表面には防腐塗装を施しています。
- 乾燥などによる予測不可能な割れを抑制するため、背割り加工を施しています。
- 屋外での使用を前提としておりますが、使用しないときは屋内で保管する等、雨・風等の影響から守ることによって、長期間ご使用できます。
- とげ、ささくれ、欠けなどが発生した場合には、サンドペーパー等で問題箇所の除去を行い、また塗装が薄くなったり取れてきた場合には、防腐塗装を行う等メンテナンス作業を施してください。

その他、お取り扱いについてご不明な点などありましたら、株式会社こどもみらい（本社）にご連絡ください。

原っぱテーブル・セット 品質保証書

検品・確認印

(株)こどもみらい

ご住所：

お名前：

御中

この度は、原っぱテーブル・セットをご購入頂きありがとうございます。

本紙表面「お取り扱い注意事項」・別紙「組立説明書」に従った正常なご使用において、不具合が生じた場合（※1）には、保証期間内であれば、無償で補修部品もしくは同等品をお送りさせていただきます。（※2）

但し、以下の場合は、保証対象外となりますので、ご了承ください。

- （1）植物の枯れ。
- （2）組立上の誤りによる破損。
- （3）使用上の誤り、改造や故意による破損。
- （4）火災や地震などの天災地変に起因する故障や破損。
- （5）本書の提示がない場合。

※1 原っぱテーブル・セットの各パーツが、各々の機能を果たさなくなった場合になります。アクリルの性質上の経年劣化による曇りやひび割れ等、天然丸太の性質上の経年劣化による割れ等は、保証対象外となります。

※2 保証期間内であっても出張による修理・交換は致しません。破損パーツや同等品の提供のみになります。なお、出張費は、有償とさせていただきます。

また、原っぱテーブル・セットの使用から生じる二次損害に関して、弊社は一切の責任を負いませんのでご注意ください。

本紙表面の「製品性質上の注意事項」をご理解の上、ご使用をお願い致します。

保証期間：

より3年間

その他、ご不明な点などありましたら、株式会社こどもみらい(本社)にご連絡ください。

株式会社こどもみらい

本社 〒661-0001 兵庫県尼崎市塚口本町3-13-17

TEL 06-6427-0023 FAX 06-6427-0024

E-mail info@codomomirai.com

原っぱテーブル 組立説明書

1. 脚を本体と固定する。

- 梱包していた段ボールを広げ、その上で本体を逆さ向けます。
- 4本の脚を同梱しているステンレスビスで固定します。その際、+（プラス）ドライバーをご使用下さい。
- 脚の固定後はテーブル全体を持って、向きを戻します。その時、一本の脚だけにテーブル全体の荷重がかからないようご注意ください。（テーブルを移動させる際にもご注意ください。）



写真の段ボールは実際のものに比べ、小さいものを使っています。

2. 植生マットを敷き詰める。

- 同梱されている4枚の植生マット（※1）を袋から出し、本体の中に敷き詰めます。（※2、※3）
- ※1 植生マットの種類は、お客様がご指定頂いたものを同梱しています。（右の写真は、ノシバです。）
- ※2 4枚の植生マットを敷き詰めると隙間ができないようになっています。植生マットを力強く押し込むとテーブル本体もしくは脚が破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ※3 オオバコ、もしくはヒメイワダレソウをご指定頂いたお客様には、4枚の植生マット以外に600×600mm 厚み10mmの嵩上げヤシマットが同梱されています。まず最初にその嵩上げヤシマットを敷いてから、その上に4枚の植生マットを敷き詰めて下さい。



4枚目の植生マットを敷き詰めているところです。



嵩上げヤシマット

3. 目砂を伸ばす。

- 同梱されている砂を4枚の植生マットそれぞれの上に山積みします。（※4）
- 砂の山を崩しつつ、指先でこするように4枚の植生マット全体に（植物の根元に砂が届くように）伸ばします。
- 砂は全て使い切る必要はありません。
- ※4 オオバコをご指定頂いたお客様は、オオバコの株根元を砂で覆うようにして下さい。
- 最後に、底の穴から水が出るほど、ジョーロ等を使ってたっぷり水をあげて下さい。



植生マット毎に、砂を山積みします。



山を崩しつつ、指先でこするように伸ばします。

その他、組立についてご不明な点などありましたら、株式会社こどもみらい(本社)にご連絡ください。

原っぱテーブル 植物管理について

1. 水やり

水やりは、植物や土の中の状態を見て、乾燥していると思ったら、たっぷりやってください。

そのためには、よく観察することが大事です。

水やりは子どもたちと一緒に、ジョーロを使ってやることをお勧めします。

夏場は、昼間の水やりは避け、朝と夕方に状態を見て水やりを行ってください。

冬場は、基本的には水やりは必要ありませんが、状態をみて必要に応じて水やりを行ってください。

2. 養生

例えば、原っぱテーブルの上で人形等を使って激しく遊んで植物が傷んだ場合は、水やりや肥料をしっかりと与え、一定期間養生することで、植物が復活します。但し、オオバコは根こまで傷んでしまうと復活できないのでご注意ください。

また、冬場は、オオバコ以外は休眠するので、激しい遊びは避け、春まで養生期間を設け、そっと見守ってください。

そうすることで春、新芽がしっかりと伸びてきます。



冬場、養生を必要とする状態

3. 肥料

通常の原っぱでは、土の深さが十分にあり、植物はそこから栄養分を吸収できますが、原っぱテーブルでは5cmと非常に薄くなっています。そのため、肥料で栄養分を補う必要があります。

肥料は、粒状のものではなく液体の肥料をお勧めします。

右に、芝生用の液体肥料の一例をご紹介します。お近くのホームセンターやインターネットでご購入下さい。（オオバコ・ヒメワダレソウの場合でも、芝生用液体肥料で構いません。）

なお、規定の原っぱテーブルは、60cm×60cmで0.36㎡（0.1坪）となっています。

肥料の散布頻度や希釈率などについては、各商品説明を詳しくご確認の上、ジョーロなどを使って散布して下さい。（オオバコ・ヒメワダレソウでも、芝生と同様の頻度や希釈率で構いません。）



メネデール
芝生料



ハイポネックス
芝生の液肥

4. 芝刈り

植生マットで芝類（ノシバ・ヒメコウライシバ）をお選び頂いたお客様は、芝の成長度合いによって芝刈りの必要があります。（オオバコ・ヒメワダレソウは、刈る必要はありません。）

芝刈りの目安として、草丈が約5cmを超えてきたら、草丈が2～3cmになるように刈ってください。

刈る場合は、右の写真のように、先生が見守る中、子どもたちがハサミを使って切っても構いません。その際は、ハサミの使用にご注意下さい。

注意事項

- 草丈5cmを大幅に超えると、芝生の成長を妨げる恐れがあります。
- ハサミ等で切った芝は、ほうきを使って、必ず原っぱテーブル上に残らないように掃除して下さい。

